

第97回企画展

墳墓のインテリアデザイン

—墳墓観の変遷 漢から唐へ—

2025

1.15(WED)-3.3(MON)



世界の生活文化と考古美術の博物館

天理大学附属

天理参考館

TENRI UNIVERSITY SANKOKAN MUSEUM

会場：天理参考館 3階企画展示室 開館時間：9時30分～16時30分（入館は16時まで）

休館日：1/21(火)、1/28(火)、2/4(火)、2/12(水)、2/18(火)

入館料：大人500円、団体(20名以上)400円、小・中・高生300円

(学校単位の団体は無料、事前申込が必要)

※障がい者とその介護者1名は無料。受付カウンターに障がい者手帳等またはミライロIDをご提示ください。

主催：天理大学附属天理参考館 後援：天理市・天理市教育委員会・歴史街道推進協議会



加彩鎮墓獸
唐（8世紀）



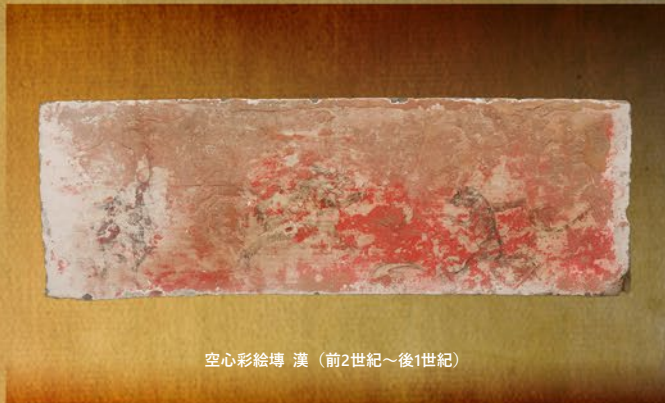
加彩武人
唐（7世紀）



加彩樂舞女子 唐（7世紀）



青磁堆塑罐
六朝前期（3世紀
中葉～4世紀初）



空心彩繪磚 漢（前2世紀～後1世紀）

第97回企画展

墳墓のインテリアデザイン — 墳墓観の変遷 漢から唐へ —

本企画展は、

「墳墓のインテリアデザイン」という切り口で、漢～唐時代の墳墓の変遷を概観するものです。古代中国大陸では、墳墓の埋葬主体部は、死後のすみか、つまり「陰宅」とみなされるようになりました。「インテリア」には、建物内面の装飾や、屋内で日常使う家具・調度品などが含まれます。墳墓も陰宅として、それらを当然そなえていました。墳墓の主体部の天井・床・四壁に用いられる構築材には、様々な装飾手法で図像や紋様がほどこされ空間がデザインされました。また各種副葬品がインテリア用品として、死後の必需品としてそれぞれの役割をもって配置されました。それぞれの時代の人々が、墳墓のインテリアに、何を期待し何を求めたのか、そしてその背景や理由にはどのような思考・思想・宗教があったのかを読み解く展覧会です。

関連イベント

記念講演会

「中国陶俑の魅力」

講師：小林 仁 氏
（大阪市立東洋陶磁美術館 学芸課長代理）
日時：2/1（土）13時30分～15時
会場：天理参考館 研修室
受講料：700円（入館料含む）
定員：100名（当日先着順）
※当日9時30分より受付にてチケットを販売します。

トーク・サンコーカン（講演会） 「墳墓のインテリアデザインを考える — 漢～唐時代の墳墓観 —」

講師：江 介也（当館学芸員）
日時：1/23（木）13時30分～15時
会場：天理参考館 研修室
定員：100名（当日先着順）※要入館券

マンデートーク

日時：1/27（月）・2/17（月）
12時30分～13時20分
会場：企画展示室 ※要入館券

ギャラリートーク

日時：2/6（木）
13時30分～14時30分
会場：企画展示室 ※要入館券

アクセス



P 駐車場あり・無料

JR・近鉄天理駅下車徒歩約20分
西名阪天理インターより
南へ約3km

※毎月25・26日は駐車場への入場・
駐車が規制されますので、公共交通
機関をご利用ください。



天理参考館
ウェブサイト



世界の生活文化と考古美術の博物館
天理大学 附属

天理参考館

TENRI UNIVERSITY SANKOKAN MUSEUM
〒632-8540 奈良県天理市守目堂町250番地
TEL 0743-63-8414 FAX 0743-63-7721
URL <https://www.sankokan.jp/>

天理参考館 寄付のご案内

天理参考館では皆様からの寄付をお願いしております。
詳細は右記から専用サイトをご覧ください。

